



NEW MULTIPLICATION OF THE ENERGY

静岡市内の災害予測に関する共同研究

静岡市内の災害予測に関する共同研究について

1.参加企業

委託企業：静岡鉄道株式会社、清和海運株式会社、木内建設株式会社

研究実施企業：Goal Connect株式会社、株式会社地域みらい

技術指導：静岡大学防災総合センター

事業化検討：RICH株式会社、
株式会社中井俊裕カーボンニュートラル研究所

2.各社の役割

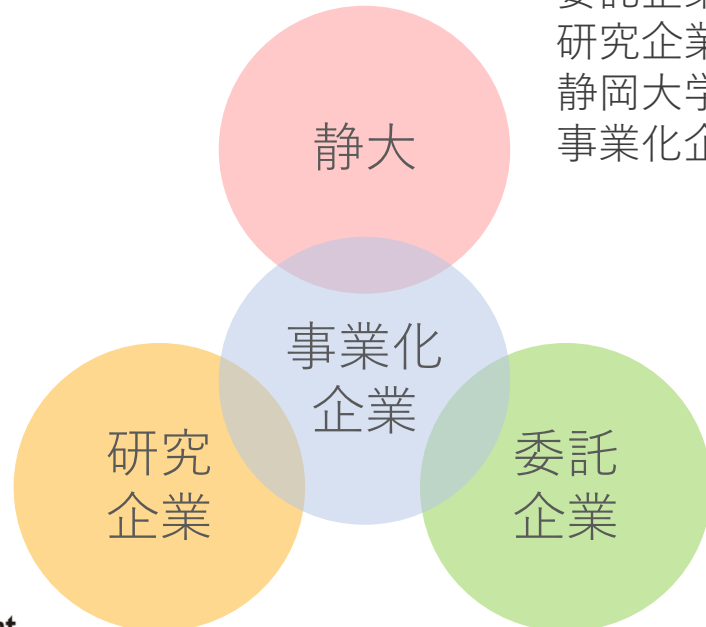
各社（8法人）間で協定の締結（4月1日）

委託企業：研究地点の提供

研究企業：提供を受けた地点での研究開発

静岡大学：研究開発における技術指導

事業化企業：コーディネートならびに将来の事業化検討



2. 研究内容

1) 国道52号線の連続交通量測定（渋滞量測定）と降雨パターンとの相関分析

清水区興津から新東名新清水インターチェンジまでの約15kmを複数の区間に分け、各々の区間において数分間隔で自動車の速度測定を連続的に実施する。一方で、降雨量データも同時に取得し、降雨量と走行速度の関係を視覚化する。これにより、将来にわたり豪雨が予測される場合、自動車走行への影響を事前に把握することを目的とする。

2) 地形データのデジタルツイン化による豪雨影響測定

LiDAR SLAM技術を用いて、日本平山頂など各所の地形の3次元立体点群データを作成し、地形の詳細な形状を可視化する。

このデータを経年的に定期的に採取することにより、地形の変化を把握する。その際、その変化を生じさせた降水量との関係を解析することで、将来の豪雨予測にともなう崖崩れなどの災害予防につなげる。

いずれもデジタルツイン技術により、現地で採取したデータをコンピュータ上で再現し、複数の角度からの解析をおこないます。

静岡市内の災害予測に関する共同研究について

3. 期間

研究期間 2024年4月から2025年3月まで

4. 事業化

降雨量と災害や交通障害との関係性が“見える化”されることにより、天候予測（近未来の降雨量、降雨パターン）とのデータ組み合わせにより、災害予報を導き出せることとなる。

したがって、重要インフラなどの周囲の地形や道路情報を取得することで災害の回避が可能となることから、本研究を基にして、各自治体などへの展開を図ることを視野にいれ、事業化に向けた検討も同時に実施してまいります。

問合せ先

(株) 中井俊裕カーボンニュートラル研究所 中井俊裕
メール nakait@cn-lab.biz
電話 090-5008-1640